

第 22 回

日本臨床内分泌病理学会学術総会

The 22nd Annual Meeting of Japan Endocrine Pathology Society

～本学会発祥の地で病態を探る～

プログラム・抄録集



会 期 : 2018年9月21日(金)～22日(土)

会 場 : 徳島大学蔵本キャンパス 大塚講堂
(徳島市蔵本町3丁目18-15)

会 長 : 吉本 勝彦(徳島大学大学院医歯薬学研究部分子薬理学分野教授)

第 22 回日本臨床内分泌病理学会学術総会

The 22nd Annual Meeting of the Japan Endocrine Pathology Society

プログラム・抄録集

会期：2018 年 9 月 21 日（金）～22 日（土）

会場：徳島大学蔵本キャンパス 大塚講堂

会長：吉本勝彦

徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学

日本臨床内分泌病理学会
研究賞選考委員会

- 委員長 吉本勝彦 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学分野)
- 委員 方波見卓行 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科)
- 委員 近藤哲生 (山梨大学大学院総合研究部医学域 人体病理学講座)
- 委員 松野彰 (帝京大学医学部 脳神経外科)

ご挨拶

第 22 回日本臨床内分泌病理学会学術総会

会長 吉本勝彦

徳島大学大学院医歯薬学研究部

分子薬理学分野 教授



この度、平成 30 年 9 月 21 日(金)、22 日(土)の 2 日間にわたり、第 22 回日本臨床内分泌病理学会学術総会を開催させていただきます。

徳島市での本学術総会の開催は第 8 回学術総会(佐野壽昭会長)から数えて 14 年ぶりとなります。本学会がこれまで歩んできた歴史を振り返って見ますと、平成 4 年 5 月に第 65 回日本内分泌学会総会(徳島大学内科学・齋藤史郎会長)が徳島市で開催された折、笹野伸昭・東北大学教授(当時)を初代会長として日本内分泌病理研究会が正式に発足しました。その後、平成 12 年に日本内分泌病理学会、さらに平成 29 年に日本臨床内分泌病理学会と改称しています。そして、平成 30 年 9 月に第 22 回日本臨床内分泌病理学会学術総会を本学会発足の地と言える徳島で開催することとなりました。

本学術総会では「本学会発祥の地で病態を探る」をテーマとして、臨床像から病理組織像を経て蛋白・遺伝子レベルでの病態の理解を深める機会となることを希望しています。佐野賞受賞講演、亀谷賞受賞講演のほか、特別講演は日本紅斑熱の発見者である馬原文彦先生(馬原医院院長・馬原アカリ医学研究所理事長)から「日本紅斑熱の発見と病理学との関わり」についてお話して頂きます。また、特別企画としての「佐野壽昭メモリアルシンポジウム」においては、本学会第 2 代理事長で徳島大学名誉教授である故佐野壽昭先生に関わりのある先生方に教育講演的観点から話題提供して頂きます。また、シンポジウムとして下垂体、甲状腺、家族性内分泌腫瘍、副甲状腺・骨代謝、副腎皮質に関するそれぞれの Update 2018 を企画しました。さらに前回に引き続いてポスターセッションを実施します。秋分の 2 日間、本学会が実り多いものとなりますよう鋭意準備し、皆様をお待ち申し上げております。お誘い併せのうえ、ふるってご参加ください。

最後になりましたが、本学術総会を開催するにあたって、ご支援いただきました先生方、関連企業、団体の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

会場のご案内

【会場アクセス】

会場：徳島大学蔵本キャンパス 大塚講堂 〒770-8504 徳島県徳島市蔵本町 3-18-15

徳島大学には3つのキャンパス(常三島・新蔵・蔵本)があり、会場は「蔵本キャンパス」です。徳島阿波おどり空港からのリムジンバスが途中停車する「徳島大学前」(常三島キャンパス)ではありませんので、終着の徳島駅前前で下車し、乗り換えてください。



【徳島阿波おどり空港から JR 徳島駅へのアクセス】

- ・リムジンバス利用の場合
所要時間 約 30 分。片道 440 円。
- ・タクシー利用の場合
所要時間 約 25 分。運賃 約 4,000 円。

【JR 徳島駅から会場へのアクセス】

- ・JR 利用の場合 徳島駅より約 12 分。片道 210 円。
「阿波池田」行、または「穴吹」行に乗車し、「蔵本」駅で下車。「蔵本」駅より徒歩 5 分。
- ・バス利用の場合 徳島駅より約 15 分。片道 210 円。

徳島市営バス

徳島駅前から「上鮎喰」行、「地藏院」行、「名東(僧都)」行、「天の原西(延命)」行、「中央病院 経由 不動(不動回転場・不動東町)」行「中央循環(右回り)」のいずれかに乗車し、「蔵本中央病院・大学病院前」で下車、徒歩 4 分。

注意:「中央病院経由 不動(不動回転場・不動東町)」行と「中央循環(右回り)」は、「医学部前」には停まりません。

徳島バス

徳島駅前から「鴨島方面」行、「石井循環線(右回り)」に乗車し、「蔵本中央病院・大学病院前」で下車、徒歩 4 分。

- ・タクシー利用の場合
所要時間 約 15 分。運賃 約 1,200 円。

お車でご来場の際は総合受付で割引駐車券を発行いたしますが、病院駐車場のため、スペースが限られております。なるべく公共の交通機関をご利用下さい。

【会場案内】

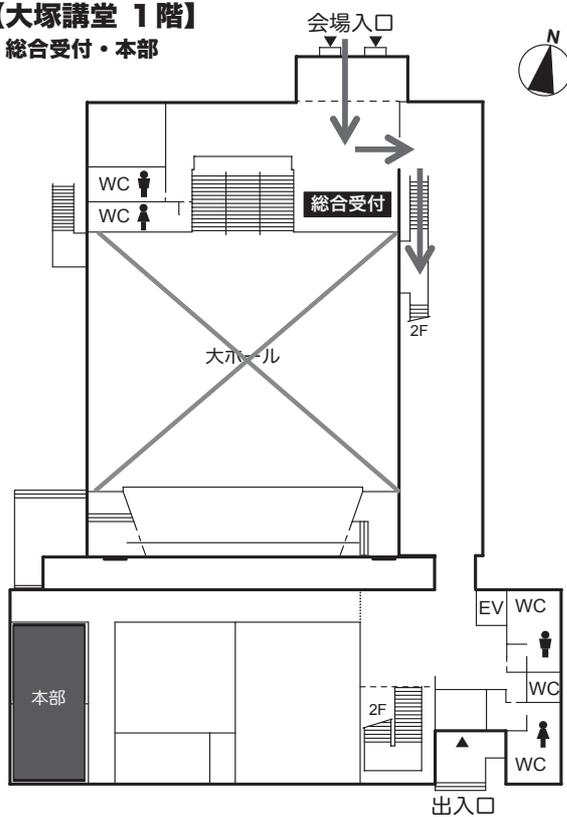
【会場（徳島大学 蔵本キャンパス）周辺案内図】



【会場（大塚講堂 小ホール）案内図】

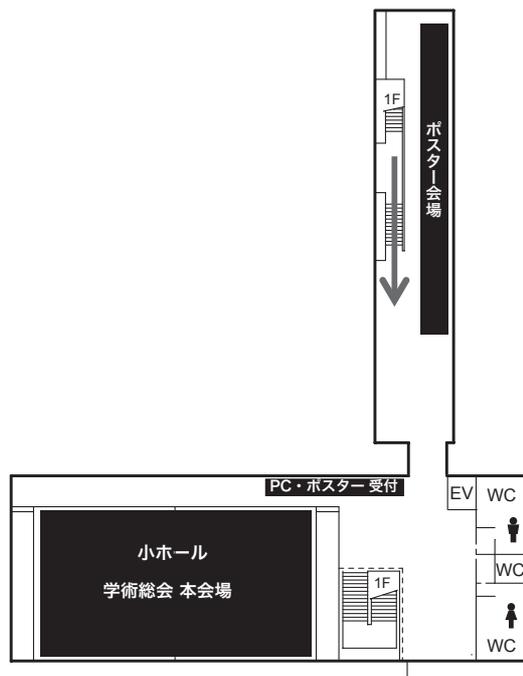
【大塚講堂 1階】

総合受付・本部



【大塚講堂 2階】

学術総会本会場・PCポスター受付



日程表

9月21日【金】

	小ホール	ホワイエ
8:00		
	8:25-8:30 開会式	
9:00	8:30-9:15 シンポジウム1 ～下垂体 Update～	ポスター設置
	9:15-10:00 シンポジウム2 ～甲状腺 Update～	
10:00	10:00-11:50 佐野壽昭メモリアル シンポジウム	
11:00		
12:00	12:00-13:00 ランチョンセミナー1	ポスター展示
13:00	13:00-13:30 評議員会・総会	
14:00	13:30-16:20 一般口演 【副腎1】 【甲状腺・カルシウム代謝】	
15:00		
16:00	16:20-16:40 佐野賞受賞講演	
	16:40-17:00 亀谷賞受賞講演	
17:00		17:00-18:00 ポスター発表会 軽食
18:00		YIPA表彰式 18:30
19:00		

9月22日【土】

	小ホール	ホワイエ
	8:30-9:15 シンポジウム3 ～家族性内分泌腫瘍 Update～	
	9:15-10:00 シンポジウム4 ～副甲状腺・骨代謝 Update～	
	10:00-10:45 シンポジウム5 ～副腎皮質 Update～	
	10:45-11:45 特別講演	
	12:00-13:00 ランチョンセミナー2	
	13:00-16:10 一般口演 【下垂体】 【副腎2・脂肪組織】 【神経内分泌腫瘍】	
	16:15-16:30 研究賞表彰式・閉会式	

参加者へのご案内

【参加受付】

大塚講堂 1F 総合受付にて、下記の通り行います。

第1日目 9月21日(金) 7:50~16:00

第2日目 9月22日(土) 8:00~13:00

【学会参加費】

会員・非会員一般 7,000 円

学生(医師は除く) 無料(学生証をご提示下さい)

- ・学会参加費をご納入の上、参加証をお受け取りください。
- ・会場内では参加証を必ずお付けください。

【プログラム・抄録集】

- ・会員には大会前に郵送いたします。
- ・当日、会場でも1,000円で別途販売いたします。

【入会手続きについて】

本会学術総会にてご発表いただく筆頭演者の方は、日本臨床内分泌病理学会の会員である必要があります。未入会の方は入会手続きをお済ませください(年会費4,000円)。新規入会に関する手続きは日本臨床内分泌病理学会のホームページ(<http://www.nacos.com/jeps/>)の入会案内をご確認ください。なお学術総会当日の受付でも入会手続きは可能です。

【専門医クレジット】

日本内分泌学会、日本病理学会の専門医の単位を取得できます。各自参加証の保管をお願いいたします。

- ・日本内分泌学会:内分泌代謝科専門医の取得単位は参加者5単位、発表者は7単位です。
- ・日本病理学会:日本病理学会専門医の取得単位を参加者は5単位、発表者は7単位です。

【ポスター発表会・軽食】

9月21日(金)17:00からのポスター発表会・質疑応答の後、同会場にて Young Investigator Poster Award の表彰式を開催いたします。軽食提供の予定です。

【昼食】

ランチョンセミナー(1日目・2日目)で昼食が提供されます。

【クローク】

設置する予定です。貴重品やコンピュータ等は各自でお持ちください。

【お願い】

会場内での携帯電話、スマートフォンのご使用につきましては、電源をお切りいただくか、マナーモードに設定の上、通話をご遠慮ください。

【宿泊について】

会場周辺には宿泊施設はありません。交通の便の良い徳島駅周辺の宿泊施設のご利用をお勧めいたします。各自ご予約ください。

座長・演者へのご案内

【座長の皆様へ】

- ・ 担当セッションの 15 分前までに総合受付にお知らせください。
- ・ 各セッションの開始 5 分前までに口演会場の次座長席あるいはポスター会場に起こしてください。
- ・ 進行は時間厳守でお願いいたします。

【シンポジウム、特別講演、一般演題（口演）発表者の皆様へ】

発表について

- ・ PC を使用してのプレゼンテーションとなります。
- ・ 出力解像度は XGA (1024×768) となります。
- ・ Microsoft PowerPoint の発表者ツール、声の出力はご利用できません。
- ・ 演台にモニターはございません。ポインター（スライド送り付き）を用意しております。
- ・ 前の演者が登壇されましたら次演者席にご着席下さい。
- ・ 以下のタイミングでベルにより経過時間をお知らせいたします。

1 ベル	発表時間終了の1分前
2 ベル	発表時間終了（討論開始）
3 ベル	討論時間終了（持ち時間終了）

発表時間について

- ・ シンポジウム : 発表 12 分・質疑応答 3 分
- ・ 一般演題（口演） : 発表 9 分・質疑応答 3 分

PC 受付について

- ・ ご発表の 1 時間前までに PC 受付でデータの登録と動作確認をお済ませください。
- ・ PC・ポスター受付:大塚講堂 2F 講演会場前フロア
- ・ PC 受付時間: 9 月 21 日(金) 8:00~16:30
9 月 22 日(土) 8:00~13:00

* 朝の時間帯は発表時刻の早い発表者を優先的に受付することがございます。予めご了承下さい。

データを持ち込まれる場合

- ・ USB フラッシュメモリでデータをご持参ください。データは予め最新のウイルス駆除ソフトでチェックをしてください。
- ・ 会場では OS Windows10 の PC とプレゼンテーションソフトとして Microsoft PowerPoint 2016 を用意いたします。Macintosh でデータを作成されている場合は、上記環境での表示・動作を予め確認していただくか、ご自身の PC をご持参下さい。
- ・ スライドデータは Microsoft PowerPoint で作成してください。
- ・ データ表示による不具合を避けるため下記の OS 標準フォントをお使い下さい。
日本語 : MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
英語 : Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman
記号 : Symbol
- ・ 動画ファイルなどリンクデータがある場合は、発表データとリンクデータを1つのフォルダに入れてください。
- ・ 動画ファイルは Windows Media Player 12 で再生できる形式で作成してください。
- ・ お預かりしたデータは学術総会終了後に事務局が責任をもって破棄いたします。

PC を持ち込まれる場合

- ・ ご自身の PC でご発表される場合も PC 受付にお越しの上、演題番号をお伝え下さい。
- ・ オペレーターがケーブル接続いたします。詳細は当日、PC 受付にてご案内いたします。
- ・ 会場では D-sub 15 ピン出力ケーブルのみを用意しております。外部出力用に特殊なコネクタが必要な場合は、そのコネクタを必ずご持参ください。
- ・ バッテリー切れを防ぐため、必ず PC 電源アダプターをご持参ください。
- ・ スクリーンセーバーや省電力機能、パスワード設定等の発表の妨げとなるモードは予めオフに設定してください。

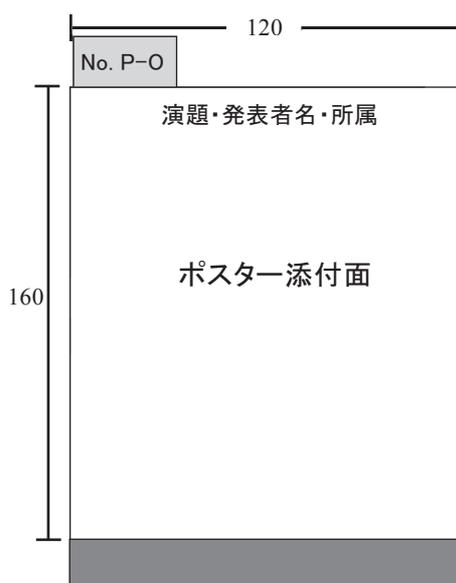
【ポスター発表者の皆様へ】

ポスター受付について

- ・ PC・ポスター受付にお越しの上、ポスター会場<ホワイエ>の各演題番号のパネルにポスターをお貼りください。演題番号、貼付に必要なプッシュピンは用意しております。
- ・ PC・ポスター受付: 大塚講堂 2F 講演会場前フロア
- ・ ポスター受付時間: 9月21日(金) 8:00~12:00

ポスター発表について

- ・ ポスター添付面は横 120 cm、縦 160 cm です。
- ・ ポスター発表・討論時間は、ご自身のポスター前で待機してください。
- ・ ポスター発表は P-1 および P-8 より、同時にスタートします。
- ・ 発表時間は発表 5 分、質疑応答 2 分となります。



貼付	8:00 ~ 12:00
発表・討論	【P-01~P-07】 17:00 ~ 17:56 【P-08~P-15】
撤去	18:00 ~ 18:30

- ・ 撤去時間まではポスターを撤去しないでください。
- ・ 撤去時間を過ぎても貼り付けてあるポスターにつきましては、事務局で撤去・廃棄いたしますのでご了承ください。(保管、郵送による返却はいたしません。)

【利益相反(COI)の開示について】

各演者の研究発表に際し、利益相反(COI)状態の開示を行ってください。なお、利益相反の有無に関わらず、すべての発表者にご開示いただく必要がございます。詳細は、日本内分泌学会のHP(利益相反について)をご覧ください。

<https://square.umin.ac.jp/endocrine/hottopics/coi-index.html>

https://square.umin.ac.jp/endocrine/hottopics/coi_shisin.pdf

開示する COI がない場合
表示例)

COI 開示
発表者名:〇〇大学;四国三郎、筑紫二郎 〇〇センター;利根太郎
演題発表に関連し、発表者らに開示すべき COI 関係にある企業はありません

開示する COI がある場合
表示例)

COI 開示
発表者名:〇〇大学;四国三郎、筑紫二郎 〇〇センター;利根太郎
演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業は下記のとおりです
発表者全員、過去3年間を一括して
講演料 ：阿波おどり製菓 共同研究費 ：うずしお油脂工業

開示する内容が過去3年間にある項目のみ記載

講演・口演ではプレゼンテーション冒頭、
ポスターでは末尾に、開示して下さい。

- ① 役員・顧問
- ② 株保有・利益
- ③ 特許使用料
- ④ 講演料
- ⑤ 原稿料
- ⑥ 治療・受託研究・共同研究費
- ⑦ 奨学寄付金
- ⑧ 寄付講座所属
- ⑨ 贈答品などの報酬

【研究賞について】

内分泌病理学の研究を奨励する目的で、研究賞(日本臨床内分泌病理学会最優秀 Distinguished Investigator Award of Japan Pathology Society、および日本臨床内分泌病理学会奨励賞 JEPS Investigator Award)を授与致します。本学術総会において演題発表を行う日本臨床内分泌病理学会の会員で、当該年度末で満40歳未満の研究者が対象です。学術総会第2日目9月22日(土)16時15分から研究賞授賞式を開催致しますので、本会場にお集まり下さい。

【トラベルグラントについて】

- ・対象の方は予め事務局よりご案内しております。総合受付にお申し出ください。
- ・印鑑をご持参ください。領収書に印鑑を頂きます。

【お問い合わせ】

第22回日本臨床内分泌病理学会学術総会事務局

〒770-8504 徳島県徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学大学院医歯薬学研究部分子薬理学内

TEL:088-633-9137(代表) FAX:088-633-7331 E-mail: jeps22@tokushima-u.ac.jp

*大会当日は電話が通じません。緊急の場合はご連絡先をお書きの上、上記E-mailにお送りください。折り返しご連絡させていただきます。

第 22 回日本臨床内分泌病理学会 学術総会 プログラム

9 月 21 日 (金) 大塚講堂 2F 小ホール

8:25 開会の挨拶

会長：吉本勝彦 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学分野)

8:30-9:15 シンポジウム 1 ～下垂体 Update 2018～

▶ 抄録 P. 31

座長：井野元智恵 (東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学)

井下尚子 (虎の門病院 病理診断科)

S1-01 「機能性下垂体腺腫の病理と薬物療法」

高橋 裕 (神戸大学 糖尿病内分泌内科学)

S1-02 「非機能性下垂体腺腫の病理と臨床像」

黒崎雅道 (鳥取大学 脳神経外科学)

S1-03 「頭蓋咽頭腫・ラトケ嚢胞の病理と外科治療」

西岡 宏 (虎の門病院 間脳下垂体外科)

9:15-10:00 シンポジウム 2 ～甲状腺 Update 2018～

▶ 抄録 P. 35

座長：廣川満良 (隈病院 病理診断科)

覚道健一 (近畿大学医学部奈良病院 中央臨床検査部病理)

S1-04 「甲状腺腫瘍様病変と遺伝子異常」

西原永潤 (隈病院 内科)

S1-05 「甲状腺癌診療 Update」

杉谷 巖 (日本医科大学大学院医学研究科 内分泌外科学分野)

S1-06 「甲状腺 Update - 甲状腺腫瘍病理のトピックス」

近藤哲夫 (山梨大学医学部 人体病理学)

10:00-11:50 特別企画 佐野壽昭メモリアルシンポジウム

▶ 抄録 P. 23

座長：常山幸一 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 疾患病理学)

上原久典 (徳島大学病院 病理部)

石丸直澄 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔分子病態学)

はじめに ～佐野壽昭先生を偲ぶ～

檜澤一夫 (徳島大学名誉教授)

「佐野先生と下垂体病理学」

山田正三 (東京脳神経センター病院 間脳下垂体センター)

「甲状腺細胞診報告様式ベセスダ第 2 版の改訂点」

廣川満良 (隈病院 病理診断科)

「筋ジストロフィー剖検例の病理学的研究」

香川典子 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 病理解析学)

「トルコ鞍部の非内分泌性腫瘍」

廣瀬隆則 (神戸大学地域連携病理学/兵庫県立がんセンター 病理診断科)

「軟部腫瘍・GIST の Ki-67 による悪性度評価」

長谷川匡 (札幌医科大学医学部 病理診断学)

「Precision Medicine in Neuroendocrine Tumor」

Zhirong Qian (中国・中山大学)

座長：島津 章（国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター）

「Cushing 病の治療 ～症例を通じた現状と今後の方向性～」

福岡 秀規（神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

13:00-13:30 評議員会・総会

13:30-14:30 一般口演 副腎 1

座長：中村 保宏（東北医科薬科大学医学部 病理学）

O1-01 サブクリニカルクッシング症候群併発が疑われた副腎褐色細胞腫の 1 例

阿部 一郎¹⁾、山崎 有人²⁾、大石 華子¹⁾、藤井 秀幸¹⁾、峯崎 みどり¹⁾、杉本 薫¹⁾、工藤 忠睦¹⁾、
小林 邦久¹⁾、笹野 公伸²⁾

¹⁾福岡大学筑紫病院 内分泌・糖尿病内科、²⁾東北大学医学部 病理学講座病理診断学分野

O1-02 肺転移をきたした若年褐色細胞腫 2 例と転移予測因子の検討

石渡 一樹^{1),2)}、藤本 真徳^{1),2)}、姚 躍³⁾、内藤 久美子^{1),2)}、石田 晶子^{1),2)}、河野 聡美^{1),2)}、
出口 ハンナ^{1),2)}、田村 愛^{1),2)}、志賀 明菜^{1),2)}、樋口 誠一郎³⁾、佐久間 一基^{1),2)}、永野 秀和^{1),2)}、
鈴木 佐和子^{1),2)}、小出 尚史^{1),2)}、横手 幸太郎^{1),2)}、田中 知明³⁾

¹⁾千葉大学医学部附属病院 糖尿病代謝内分泌内科、²⁾千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学、³⁾千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学

O1-03 偶発腫瘍で発見された無症候性褐色細胞腫・神経節腫の複合性腫瘍の一例

田辺 晶代¹⁾、辻本 哲郎¹⁾、橋本 真紀子^{1),2)}、中條 大輔¹⁾、大杉 満¹⁾、植木 浩二郎¹⁾、
梶尾 裕¹⁾、猪狩 亨³⁾

¹⁾国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科、²⁾同 人間ドック科、³⁾同 病理科

O1-04 急性心不全を契機に診断された多発性パラガングリオーマの 1 例

成瀬 光栄¹⁾、笹井 有美子²⁾、立木 美香²⁾、兼子 大輝²⁾、濱中 佳歩²⁾、横本 真希²⁾、
小笠原 辰樹²⁾、馬越 洋宜²⁾、田上 哲也²⁾、島津 章¹⁾、白神 幸太郎³⁾、奥野 博⁴⁾、安里 亮⁵⁾、
森吉 弘毅⁶⁾、木村 伯子⁷⁾

¹⁾国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター、²⁾同 内分泌代謝内科、³⁾同 心臓血管外科、
⁴⁾同 泌尿器科、⁵⁾同 頭頸部外科、⁶⁾同 病理診断科、⁷⁾国立病院機構函館病院 病理診断部

O1-05 アジソン病併発副腎原発 T 細胞リンパ腫の 1 例

松原 史明¹⁾、方波 見卓行²⁾、福田 尚志¹⁾、石井 聡¹⁾、浅井 志高⁵⁾、磯部 泰司³⁾、干川 昌弘⁴⁾、
加藤 浩之¹⁾、永井 義夫¹⁾、田中 逸¹⁾

¹⁾聖マリアンナ医科大学病院 代謝・内分泌内科、²⁾聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科、³⁾聖マリアンナ医科大学病院 血液内科、⁴⁾聖マリアンナ医科大学病院 病理診断科、⁵⁾川崎市立多摩病院 代謝・内分泌内科

座長：有安宏之（和歌山県立医科大学 内科学第一講座）

O1-06 甲状腺細胞診報告様式ベセスダシステムの改訂（第2版）と当院での対応

樋口観世子¹⁾、廣川満良²⁾、兼松里紗¹⁾、伊藤歩紀¹⁾、鈴木彩菜¹⁾、山尾直輝¹⁾、高田奈美³⁾、隈晴二²⁾、林俊哲²⁾、宮内昭⁴⁾

¹⁾隈病院 臨床検査科、²⁾隈病院 病理診断科、³⁾大分大学医学部 診断病理学教室

⁴⁾隈病院 外科

O1-07 A consistent loss of Mieap expression in oncocytic follicular tumors of the thyroid: associated with epigenetic regulation

Zhanna Mussazhanova¹⁾, Hirokazu Kurohama¹⁾, Tomomi Kurashige²⁾, Masahiro Ito³⁾, Yuji Nagayama²⁾, Masahiro Nakashima¹⁾

¹⁾ Department of Tumor and Diagnostic Pathology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University,

²⁾ Department of Molecular Medicine, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, ³⁾ Department of Pathology, National Hospital Organization Nagasaki Medical Center

O1-08 甲状腺癌における TERT プロモーターの rSNP と点突然変異のレポーター遺伝子アッセイ

有益 優¹⁾、廣川達也¹⁾、山本浩之¹⁾、千葉知宏¹⁾、藤原正親¹⁾、矢澤卓也²⁾、菅間博¹⁾

¹⁾杏林大学医学部 病理学講座、²⁾獨協医科大学 病理学講座

O1-09 Pendrin に代わる新たなヨード輸送体 SLC26A7

菅間博¹⁾、石井順²⁾、鈴木敦³⁾、木村徹⁴⁾、矢澤卓也²⁾、齋藤伸治³⁾、水野晴夫⁵⁾

¹⁾杏林大学医学部 病理学、²⁾獨協医科大学医学部 病理学、³⁾名古屋市立大学医学部 小児科、

⁴⁾杏林大学医学部 薬理学、⁵⁾国際医療福祉大学医学部 小児科学

O1-10 低リン血症性骨軟化症合併間質性腎炎における腎尿細管の病理学的特性についての検討

今西康雄、小林郁江、宮岡大知、林礼行、永田友貴、絵本正憲、稲葉雅章

大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学

O1-11 腫瘍性低リン血症性骨軟化症における原因腫瘍摘出に伴う骨生検像の変化についての検討

今西康雄、林礼行、小林郁江、宮岡大知、永田友貴、絵本正憲、稲葉雅章

大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学

16:10-16:30 佐野賞受賞講演

座長：戸田修二（佐賀大学医学部 臨床病態病理学分野）

「下垂体腺腫の臨床病理学的検討」

井野元智恵（東海大学医学部基盤診療学系 病理診断学）

16:30-16:50 亀谷賞受賞講演

座長：菅間博（杏林大学医学部 病理学）

「内分泌腫瘍診断における基盤構築と臨床病理学的研究

小嶋基寛（国立研究開発法人 国立がん研究センター先端医療開発センター 臨床腫瘍病理）

座長：岩崎泰正(高知大学 臨床医学部門) P-1～P-7
矢澤卓也(獨協医科大学 病理学) P-8～P-15

P-1 脳内、副鼻腔、下垂体に炎症を認めステロイドが著効した1例

原 倫世¹⁾、吉田守美子¹⁾、細井美希¹⁾、遠藤ふうり¹⁾、筒井康継¹⁾、榊田志保¹⁾、倉橋清衛¹⁾、
明比祐子¹⁾、遠藤逸朗¹⁾、栗飯原賢一¹⁾、中島公平²⁾、坂東良美³⁾、安倍正博⁴⁾、福本誠二¹⁾
¹⁾徳島大学病院 内分泌・代謝内科、²⁾徳島大学 脳神経外科、³⁾徳島大学病院 病理部、⁴⁾徳島大学大学
院 血液・内分泌代謝内科学

P-2 高異型度充実性増生を優位成分とする被包型濾胞性腫瘍の1例

黒濱大和¹⁾、Zhanna Mussazhanova¹⁾、佐藤伸也²⁾、山下弘幸²⁾、覚道健一³⁾、中島正洋¹⁾
¹⁾長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学、²⁾やました甲状腺病院、
³⁾近畿大学医学部奈良病院

P-3 シンチグラフィで集積を認めた甲状腺髄様癌の1例

有安宏之¹⁾、竹島 健¹⁾、岩倉 浩¹⁾、山岡博之¹⁾、古川安志¹⁾、西 理宏¹⁾、割栢健史²⁾、
村田晋一²⁾、赤水尚史¹⁾
¹⁾和歌山県立医科大学 内科学第一講座、²⁾和歌山県立医科大学 病理診断科

P-4 Molecular pathological analyses of intathyroid thymic carcinoma

Ippei Tahara¹⁾、Tetsuo Kondo¹⁾、Naoki Oishi¹⁾、Tomohiro Inoue¹⁾、Kazunari Kasai¹⁾、Toru Odate¹⁾、
Masataka Kawai¹⁾、Kunio Mochizuki¹⁾、Tadao Nakazawa¹⁾、Huy Vuong¹⁾、Mitsuyoshi Hirokawa²⁾、
Toshio Oyama³⁾、Kazuyuki Miyata⁴⁾、Ryohei Katoh⁵⁾
¹⁾Department of Pathology, University of Yamanashi, ²⁾Kuma Hospital, ³⁾Yamanashi Prefectural Central
Hospital, ⁴⁾Kofu Municipal Hospital, ⁵⁾Ito Hospital

P-5 IgG4 関連疾患が疑われた原発性副甲状腺機能亢進症の1例

名取恵子¹⁾、高石 瞳¹⁾、神尾英則¹⁾、塚田弘子¹⁾、徳光宏紀¹⁾、野口英一郎¹⁾、大地哲也¹⁾、
堀内喜代美¹⁾、山本智子²⁾、長嶋洋治²⁾、岡本高宏¹⁾
¹⁾東京女子医科大学 乳腺・内分泌外科、²⁾東京女子医科大学 病理診断科

P-6 一塩基多型 rs1697421 は食後血清リンに影響する

新居紗知¹⁾、勝本美咲¹⁾、檜崎遥子¹⁾、世古千裕¹⁾、山崎通世¹⁾、奥村仙示¹⁾、山本浩範²⁾、
武田英二¹⁾、竹谷 豊¹⁾
¹⁾徳島大学医学部医科栄養学科 臨床食管理学分野、²⁾仁愛大学人間生活学部 健康栄養学科

P-7 原発性アルドステロン症における腎傷害像の病理組織学的検討

尾形博子¹⁾、手塚雄太²⁾、山崎有人¹⁾、尾股慧²⁾、小野美澄²⁾、森本玲²⁾、佐藤 博²⁾、
宮崎真理子²⁾、城 謙輔¹⁾、中村保宏³⁾、荒井陽一⁴⁾、伊藤貞嘉²⁾、佐藤文俊⁵⁾、笹野公伸¹⁾
¹⁾東北大学大学院 病理診断学分野、²⁾東北大学病院 腎高血圧内分泌科、³⁾東北医科薬科大学 病理
学教室、⁴⁾東北大学病院 泌尿器科、⁵⁾東北大学大学院 難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携寄付
講座

P-8 副腎不全を伴った両側副腎原発悪性リンパ腫の1例

山本 晋^{1),2)}、仙波英徳²⁾、三宅映己²⁾、古川慎哉³⁾、宮内省蔵⁴⁾、日浅陽一²⁾、松浦文三^{1),2)}
¹⁾愛媛大学大学院 地域生活習慣病・内分泌学講座、²⁾愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学、
³⁾愛媛大学大学院 疫学・予防医学講座、⁴⁾市立宇和島病院 内科

P-9 Expression of calcium-related receptors in human normal and pathological adrenal glands; Association between systemic calcium metabolism and aldosterone biosynthesis

Gao Xin¹⁾, Yuto Yamazaki¹⁾, Yuta Tezuka²⁾, Kei Omata²⁾, Ryo Morimoto³⁾, Yasuhiro Nakamura⁴⁾, Fumitoshi Satoh²⁾, Hironobu Sasano¹⁾

¹⁾Department of Pathology, Tohoku University, Graduate School of Medicine, ²⁾Division of Clinical Hypertension, Endocrinology and Metabolism, Tohoku University Graduate School of Medicine, ³⁾Division of Nephrology, Endocrinology, and Vascular Medicine, Tohoku University Hospital, ⁴⁾Division of Pathology, Faculty of Medicine, Tohoku Medical and Pharmaceutical University

P-10 稀な皮膚所見と一過性高コルチゾール血症を呈した褐色細胞腫

山田賀奈子¹⁾、佐野悠子²⁾、臼井 健^{3),4)}、姜 知佳¹⁾、成島唯人¹⁾、畠山 寛¹⁾、鳥居みずき¹⁾、小杉理英子^{1),3)}、米本崇子^{1),3)}、小川達雄¹⁾、小谷仁人¹⁾、田村尚久^{1),4)}、鈴木 誠⁵⁾、新井一守⁵⁾、井上達秀¹⁾

¹⁾静岡県立総合病院 糖尿病・内分泌内科、²⁾静岡県立総合病院 皮膚科、³⁾静岡県立総合病院 遺伝診療科、⁴⁾静岡県立総合病院 リサーチサポートセンター、⁵⁾静岡県立総合病院 病理学部

P-11 初回手術時に paraganglioma と診断され 10 年後に局所再発した後腹膜神経内分泌腫瘍の1例

和田典男¹⁾、柴山 惟¹⁾、馬場周平¹⁾、宮野有希恵¹⁾、小原慎司¹⁾、広瀬貴行²⁾、田中 博²⁾、辻 隆裕³⁾、深澤雄一郎³⁾、山崎有人⁴⁾、笹野公伸⁴⁾

¹⁾市立札幌病院 糖尿病・内分泌内科、²⁾泌尿器外科、³⁾病理診断科、⁴⁾東北大学大学院 医学系研究科 病理病態学講座病理診断学分野

P-12 転移性膵癌に合併して見出された膵島過形成の一例

山下理子

徳島赤十字病院 病理診断科

P-13 Prss53 は膵β細胞のミトコンドリア機能を介した細胞維持に関与する

水澤典子¹⁾、原田永勝²⁾、岩田武男³⁾、吉本勝彦¹⁾

¹⁾徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学分野、²⁾島根県立大学看護栄養学部 健康栄養学科、³⁾新潟薬科大学薬学部 機能形態学分野

P-14 脂肪組織における炎症性サイトカイン MCP-1 の発現を制御する新たな転写因子の同定

黒田雅士¹⁾、石川悦子¹⁾、宇川菜穂¹⁾、川端康代¹⁾、佐々木和佳¹⁾、升本早枝子¹⁾、堤 理恵¹⁾、阪上 浩^{1),2)}

¹⁾徳島大学大学院医歯薬学研究部 代謝栄養学分野、²⁾徳島大学先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター

P-15 地域での内分泌病理との接点～副甲状腺や副腎腫瘍の症例より～

本田壮一¹⁾、吉本勝彦²⁾

¹⁾美波病院 内科、²⁾徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学分野

18:00～18:10 Young Investigator Poster Award 表彰式

8:30-9:15 シンポジウム 3 ～家族性内分泌腫瘍 Update 2018～ ▶ 抄録 P. 39

座長：白井 健 (静岡県立総合病院 遺伝診療科)
岡本 高宏 (東京女子医科大学 乳腺・内分泌外科)

S2-01 「多発性内分泌腫瘍症 1 型－最近の話題」

櫻井 晃洋 (札幌医大 遺伝医学)

S2-02 「家族性副甲状腺機能亢進症－最新の知見」

内野 眞也 (野口病院 外科)

S2-03 「本邦における遺伝性褐色細胞腫・パラガングリオーマの現状」

竹越 一博 (筑波大学 スポーツ医学・検査医学)

9:15-10:00 シンポジウム 4 ～副甲状腺・骨代謝 Update 2018～ ▶ 抄録 P. 43

座長：遠藤 逸朗 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 生体機能解析学分野)
高野 幸路 (北里大学医学部 内分泌代謝内科学)

S2-04 「受容体発現の異常からみた副甲状腺機能亢進症の病態」

今西 康雄 (大阪市立大学大学院 医学研究科代謝内分泌病態内科学)

S2-05 「腫瘍性骨軟化症 (tumor-induced osteomalacia: TIO) の病因」

福本 誠二 (徳島大学先端酵素学研究所 藤井節郎記念医科学センター)

S2-06 「高 Ca クリーゼをきたした異所性 PTH 産生悪性線維性組織球腫」

飯塚 眞由 (帝京大学医学部 生化学)

10:00-10:45 シンポジウム 5 ～副腎皮質 Update 2018～ ▶ 抄録 P. 47

座長：笹野 公伸 (東北大学大学院医学系研究科 病理病態学)
佐藤 文俊 (東北大学大学院医学系研究科 難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携寄付講座)

S2-07 「副腎皮質疾患の臨床診断の最近の話題」

田辺 晶代 (国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科)

S2-08 「副腎皮質癌治療の Update」

方波見卓行 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科)

S2-09 「副腎皮質病変の病理診断 Update 2018: 新 WHO 分類との関連」

中村 保宏 (東北医科薬科大学医学部 病理学)

10:45-11:45 特別講演 ▶ 抄録 P. 19

座長：吉本 勝彦 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学分野)

「日本紅斑熱の発見と病理学との関わり」

馬原文彦 (馬原医院院長／馬原アカリ医学研究所理事長)

12:00-13:00 ランチョンセミナー2 ▶ 抄録 P. 57

座長：吉本 勝彦 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学分野)

「糖尿病患者における糖・血圧・脂質の包括管理と新規血管リスク制御因子の解析」

栗飯原賢一 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 糖尿病・代謝疾患治療医学分野)

共催：田辺三菱製薬株式会社

座長：山田正三（東京脳神経センター病院 間脳下垂体センター）

O2-01 トルコ鞍部嚢胞性腫瘍の一例

大山健一¹⁾、廣畑倫生¹⁾、小川真澄²⁾、江戸直樹²⁾、高橋 論²⁾、盛田幸司²⁾、石川敏夫²⁾、
齊藤光次³⁾、笹島ゆう子³⁾、近藤福雄³⁾、長村義之⁴⁾、松野 彰¹⁾

¹⁾帝京大学医学部 脳神経外科/下垂体・内視鏡手術センター、²⁾内科、³⁾病理診断科、⁴⁾日本鋼管病院
病理診断科

O2-02 ステロイド内服中に繰り返し腫瘍の増大を来した下垂体部腫瘍の一例

小林伸行¹⁾、安納崇之¹⁾、河合繁夫²⁾、山口岳彦³⁾、渡辺英寿⁴⁾

¹⁾とちぎメディカルセンターしもつが 脳神経外科、²⁾病理診断部、³⁾獨協医大埼玉医療センター 病理診
断科、⁴⁾自治医大 脳神経外科

O2-03 ソマトスタチンアナログ製剤にて著明な縮小がみられたGH産生マクロアデノーマの1例

倉橋清衛¹⁾、遠藤逸朗¹⁾、近藤剛史²⁾、遠藤ふうり¹⁾、原 倫世¹⁾、榎田志保¹⁾、吉田守美子¹⁾、
明比祐子¹⁾、坂東良美³⁾、栗飯原賢一¹⁾、安倍正博¹⁾、福本誠二¹⁾

¹⁾徳島大学病院 内分泌代謝内科、²⁾徳島赤十字病院 内科、³⁾徳島大学病院 病理部

O2-04 異所性ACTH産生腫瘍との鑑別に苦慮したクッシング病の一例

大月道夫¹⁾、奥野陽亮¹⁾、山本研人¹⁾、向井康祐¹⁾、小澤純二¹⁾、西澤 均¹⁾、前田法一¹⁾、
松岡孝昭¹⁾、岩橋博見¹⁾、押野悟²⁾、齋藤洋一³⁾、下村伊一郎¹⁾

¹⁾大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学、²⁾脳神経外科学、³⁾脳神経機能再生学

座長：和田典男（市立札幌病院 糖尿病・内分泌内科）

O2-05 アルドステロン産生腺腫症例におけるCT、segmental AVS、CYP11B2染色による アルドステロン産生局在の検討

柴山 惟¹⁾、和田典男¹⁾、馬場周平¹⁾、宮野有希恵¹⁾、小原慎司¹⁾、境 英承²⁾、白渕浩明³⁾、
寺江 聡³⁾、田中 博⁴⁾、辻 隆裕⁵⁾、深澤雄一郎⁵⁾、西本紘嗣郎⁶⁾

¹⁾市立札幌病院 糖尿病・内分泌内科、²⁾市立札幌病院 放射線部、³⁾市立札幌病院 放射線診断科、
⁴⁾市立札幌病院 泌尿器外科、⁵⁾市立札幌病院 病理診断科、⁶⁾埼玉医科大学国際医療センター 泌尿
器腫瘍科

O2-06 原発性アルドステロン症におけるAldosterone Producing Cell Clustersの臨床的意義

馬越洋宜¹⁾、西本紘嗣郎²⁾、方波見卓行³⁾、柴田洋孝⁴⁾、和田典男⁵⁾、坂本竜一⁶⁾、小川佳宏⁶⁾、
山本浩一⁷⁾、曾根正勝⁸⁾、立木美香¹⁾、成瀬光栄¹⁾、JPAS研究班¹⁾

¹⁾京都医療センター 内分泌・代謝内科、²⁾埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器科、³⁾聖マリアンナ
医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科、⁴⁾大分大学 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科、⁵⁾市立札
幌病院 糖尿病・内分泌内科、⁶⁾九州大学 病態制御内科、⁷⁾大阪大学 老年・総合内科、⁸⁾京都大学
糖尿病・内分泌・栄養内科

O2-07 鑑別困難だったカテコラミン軽度高値、サブクリニカクッシング症候群（SCS）を伴った 血管嚢胞合併副腎腺腫の1例

常見真吾¹⁾、方波見卓行¹⁾、月山秀一¹⁾、中村祐太¹⁾、中山太雅¹⁾、菱田吉明¹⁾、蜂須賀智²⁾、
北島和樹²⁾、山田隆之³⁾、山崎有人⁴⁾、笹野公伸⁴⁾、田中 逸⁵⁾

¹⁾聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科、²⁾同 腎・泌尿器外科、³⁾同 放射線医学、
⁴⁾東北大学 病理診断学分野、⁵⁾聖マリアンナ医科大学病院 代謝・内分泌内科

O2-08 妊娠中に高血圧と精神異常を呈した副腎皮質・髓質混合腫瘍の1例

神澤真紀¹⁾、福岡秀規²⁾、重村克己³⁾、青山弥生⁴⁾、中村保宏⁵⁾、原重雄⁶⁾、高橋裕⁷⁾、伊藤智雄¹⁾

¹⁾神戸大学医学部附属病院 病理診断科、²⁾同、糖尿病内分泌内科、³⁾同、泌尿器科、⁴⁾東北大学病院 病理部、⁵⁾東北医科薬科大学医学部 病理学教室、⁶⁾神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科、⁷⁾神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学

O2-09 悪性黒色腫の生存、増殖、浸潤における脂肪組織と流体刺激の役割とその制御機構

加来裕美¹⁾、青木茂久¹⁾、芥川剛至¹⁾、力武美保子¹⁾、米満伸久²⁾、杉原甫³⁾、戸田修二¹⁾

¹⁾佐賀大学医学部 病因病態科学講座、²⁾佐世保中央病院、³⁾国際医療福祉大学

15:10-16:10 一般口演 神経内分泌腫瘍

▶ 抄録 P. 80

座長：梶原博（東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学）

O2-10 肺および胸腺原発カルチノイド腫瘍の臨床病理学的特徴

内田真介^{1),2)}、吉田研一¹⁾、柴山隆宏¹⁾、橋本大輝¹⁾、吉田朗彦¹⁾、渡辺俊一²⁾、元井紀子¹⁾

¹⁾国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科、²⁾呼吸器外科

O2-11 術中捺印細胞診が診断に有用であった神経内分泌腫瘍の2症例

木村優人¹⁾、玉置裕之¹⁾、江原隆¹⁾、多田こころ¹⁾、清久泰司²⁾、堀口英久¹⁾

¹⁾徳島市民病院 病理診断科、²⁾臨床検査科

O2-12 Liver X receptor (LXR) は小細胞肺癌に対する新規治療標的分子になり得るか

柏木維人¹⁾、矢澤華子¹⁾、石井順¹⁾、千葉英樹²⁾、矢澤卓也¹⁾

¹⁾獨協医科大学医学部 病理学講座、²⁾福島県立医科大学医学部 基礎病理学講座

O2-13 POU3F4 および POU4F2 強制発現に伴い共通して活性化する転写因子 HES5 の制御による神経内分泌形質の減弱化

矢澤華子¹⁾、柏木維人¹⁾、石井順¹⁾、平松千恵¹⁾、菅間博²⁾、矢澤卓也¹⁾

¹⁾獨協医科大学 病理学、²⁾杏林大学 病理学

O2-14 PROX1 および REST 遺伝子による内分泌顆粒の形成環境

石井順¹⁾、矢澤華子¹⁾、柏木維人¹⁾、鈴木盛一郎¹⁾、平松千恵¹⁾、菅間博²⁾、矢澤卓也¹⁾

¹⁾獨協医科大学医学部 病理学講座、²⁾杏林大学医学部 病理学教室

16:15~16:30 研究賞表彰式・閉会式